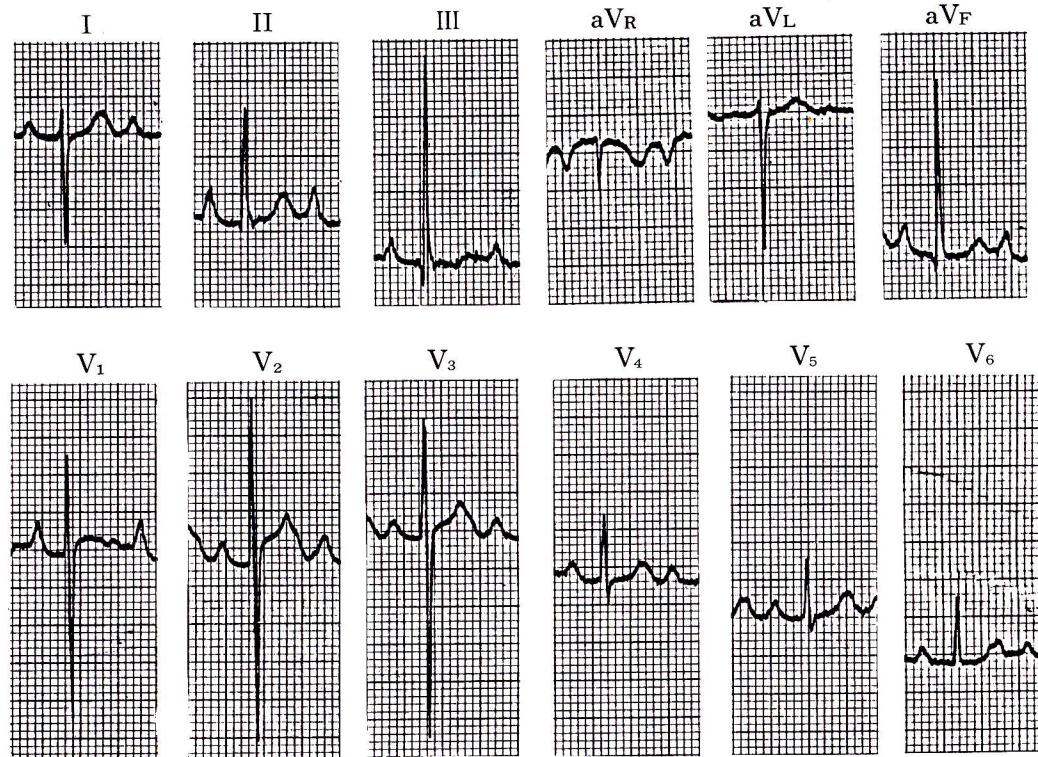


症例 10

● 10歳 女

● ファロー四徴症根治術後の患者.



63

- 1) II, III, aVF, V₁に尖鋭な陽性P波がみられるが、どう考えればよいか。
- 2) 前額面電気軸はどうか。

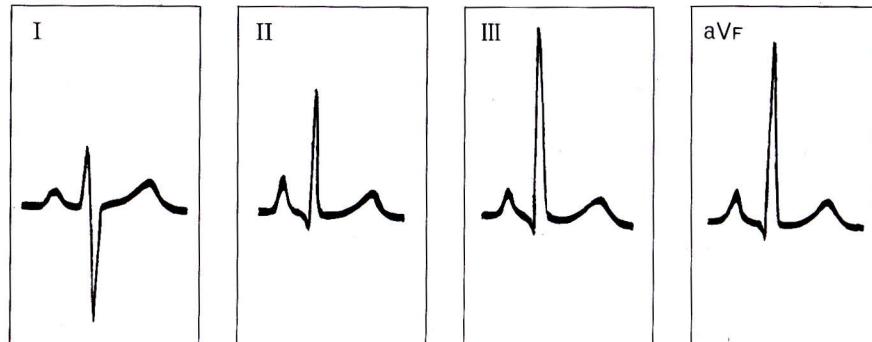
肺性P波，右心性P波，右軸偏位

IIのP波3.5mm, III, aVFのP波2.5mmで尖鋭。これは肺性P波（P pulmonale）の基準を満たしている。また、V₁のP波は3mmでかつ尖鋭であり、右心性P波（P dextrocardiale）の基準を満たしている。これらの所見は右房負荷の存在を示している。前額面電気軸は+115°で右軸

偏位である。V₁のR/S<1で、V₅, V₆のS波も浅く右室肥大の基準は満たしていないが、IIIのR波が27mm, aVFのR波が23mmと高く、右軸偏位、右房負荷の所見と考え合わせると右室肥大的可能性が示唆される。

MEMO

<肺性P波の典型的パターン>



II, III, aVFに高く(2.5mm以上), かつ尖鋭なP波